

入門看護

第7回

生地

本日のレジュメ

- 環境整備

- バイタルサイン

環境整備の目的

- 患者が心地よく生活できるようにする
- コミュニケーションの機会とする
- 観察の機会とする

実習環境を整えるために 環境整備をしよう！！

（本日の実習目標）

- これからの実習が、心地よくできるようにする
- 実習室の物品確認の機会とする

必要物品

- 上用雑巾
- 下用雑巾
- クイックルワイパーの柄
- バケツ

実習の方法

1. 窓を開け、換気する
2. ベッドを清潔にする
3. カーテンを調整し、採光の確認をする
4. ベッドや床頭台の間隔を調整する
5. 掃き掃除と拭き掃除をする

注意点

- 掃き掃除は、ほこりをたてないように注意する
- 拭き掃除は、上用と下用を分ける
 - 上用：床頭台、オーバーテーブル
 - 下用：ベッド柵、ベッドの周囲、椅子、照明器具、テレビ、洗面台など
- 床拭きは、クイックルワイパーの柄に雑巾をつけて行う

後片付け

- 使用した物品は所定の位置に片づける
- 片づけ終わった人から、手を洗い、感染予防に気を付ける

基本的な考え方

床には落下細菌がたくさんいます

清潔な部分からはじめて、不潔な部分へとすすめていくこと

例えば・・・

- ・ベッド→ベッド柵→床
- ・頭側→足側

フィジカルアセスメント

- ・身体に関する情報を収集して健康状態を評価すること
- ・体温、脈拍、呼吸、血圧の変化は、生命維持の状態を知る重要な指標になる
→バイタルサイン

バイタルサインとは

「生命維持の徴候を示すもの」

人が生きていることを示す証となる
体温、脈拍、呼吸、血圧のことを指す

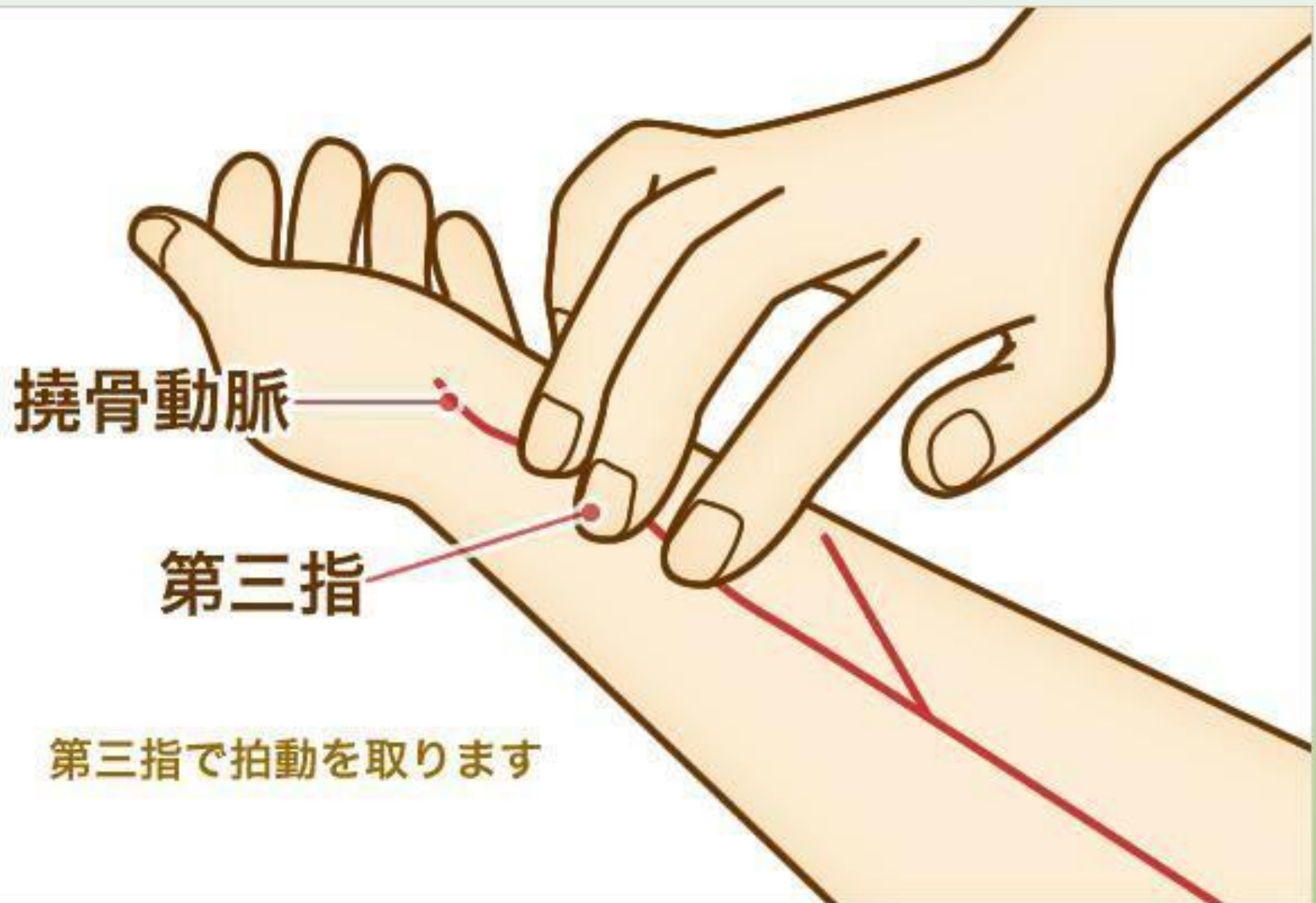
Vital・・・生命の維持に必要な、命にかかわる

Signs・・・信号、合図

本日は、バイタルサインの中の

脈拍測定と血圧測定を行います

脈拍の測り方



いろいろな脈拍に触れてみよう



後脛骨動脈



足背動脈

正常な成人の心拍数：60～80回／分

（脈拍数の異常）

頻脈：100回／分以上

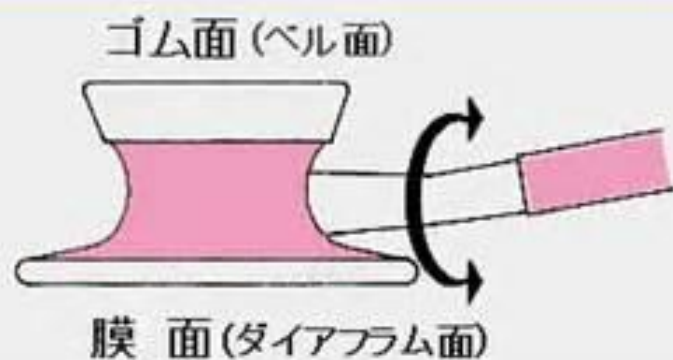
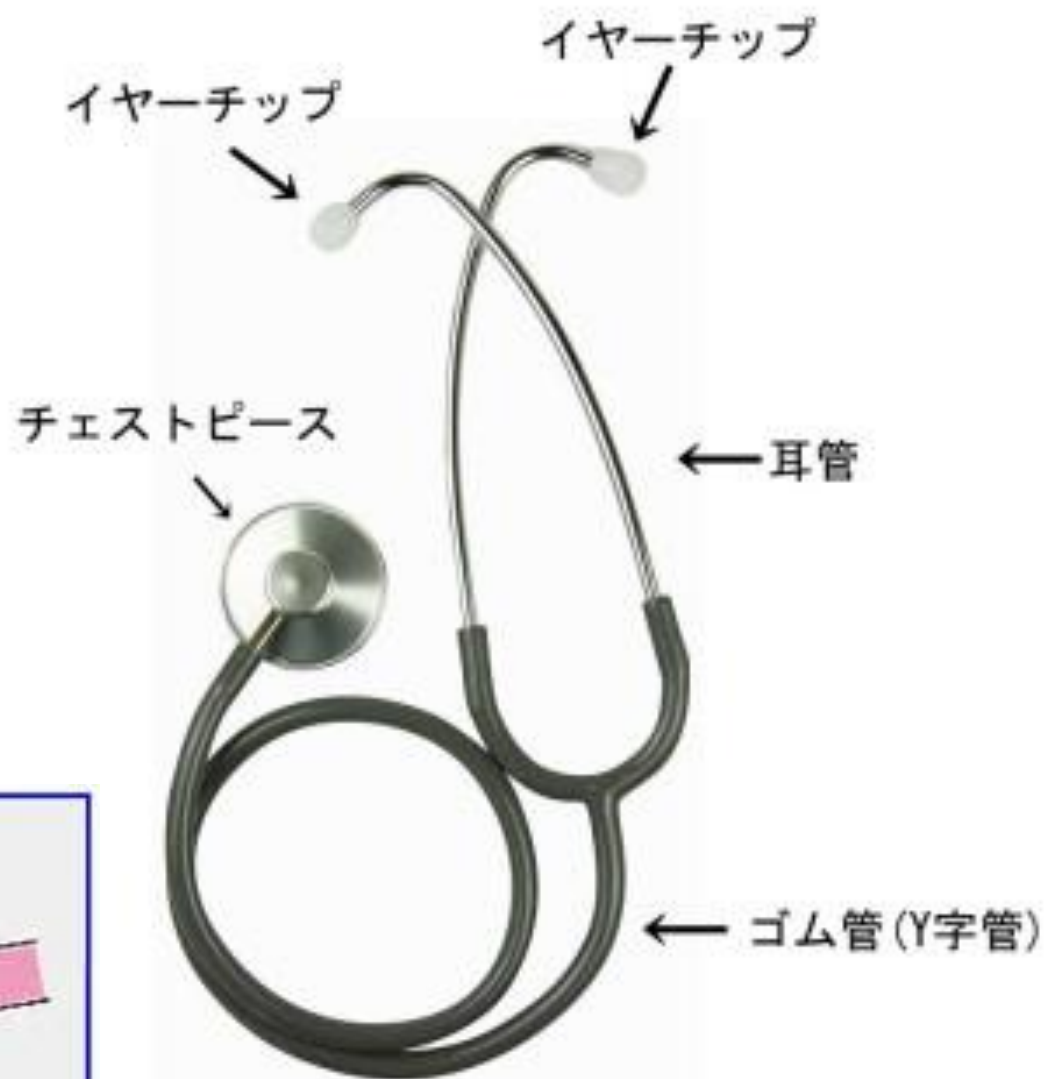
徐脈：60回／分以下

（その他の異常）

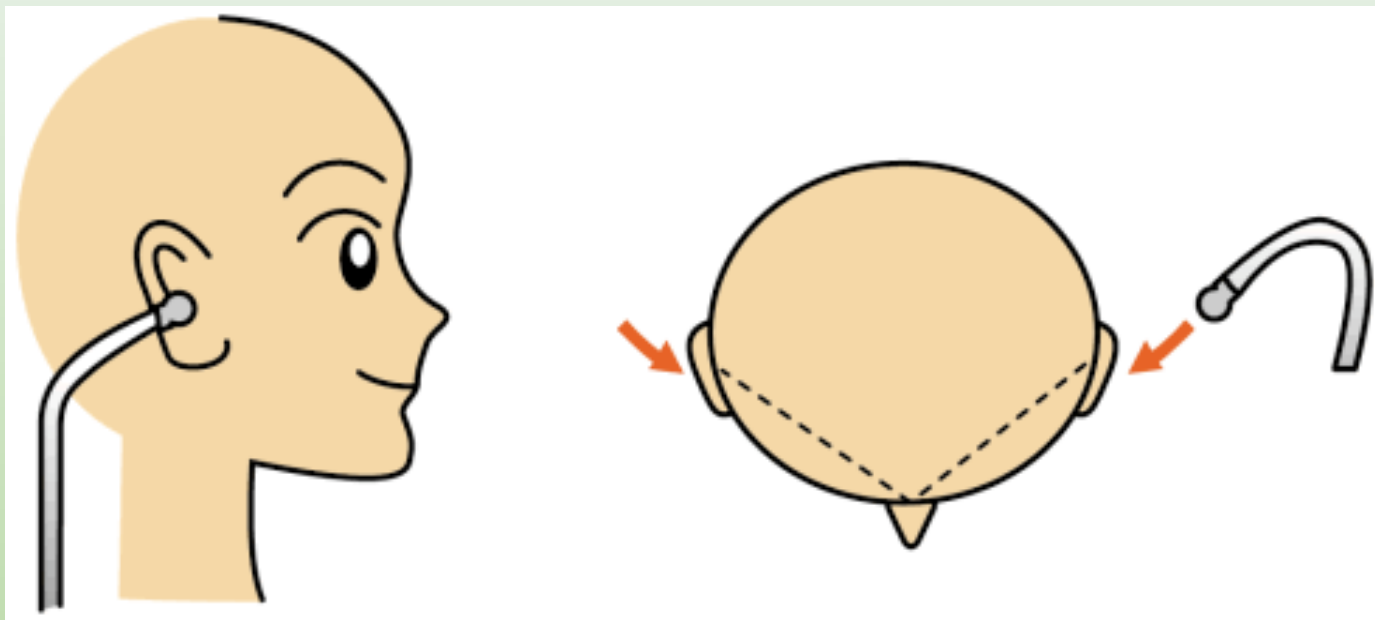
リズム、脈圧など

脈拍数・脈の大きさ・緊張度・リズムなどを観察すること

聴診器の各部名称



聴診器の使い方



ハの字にもってつける

血圧計の各部名称

電源ボタン



マンシェット



送気球

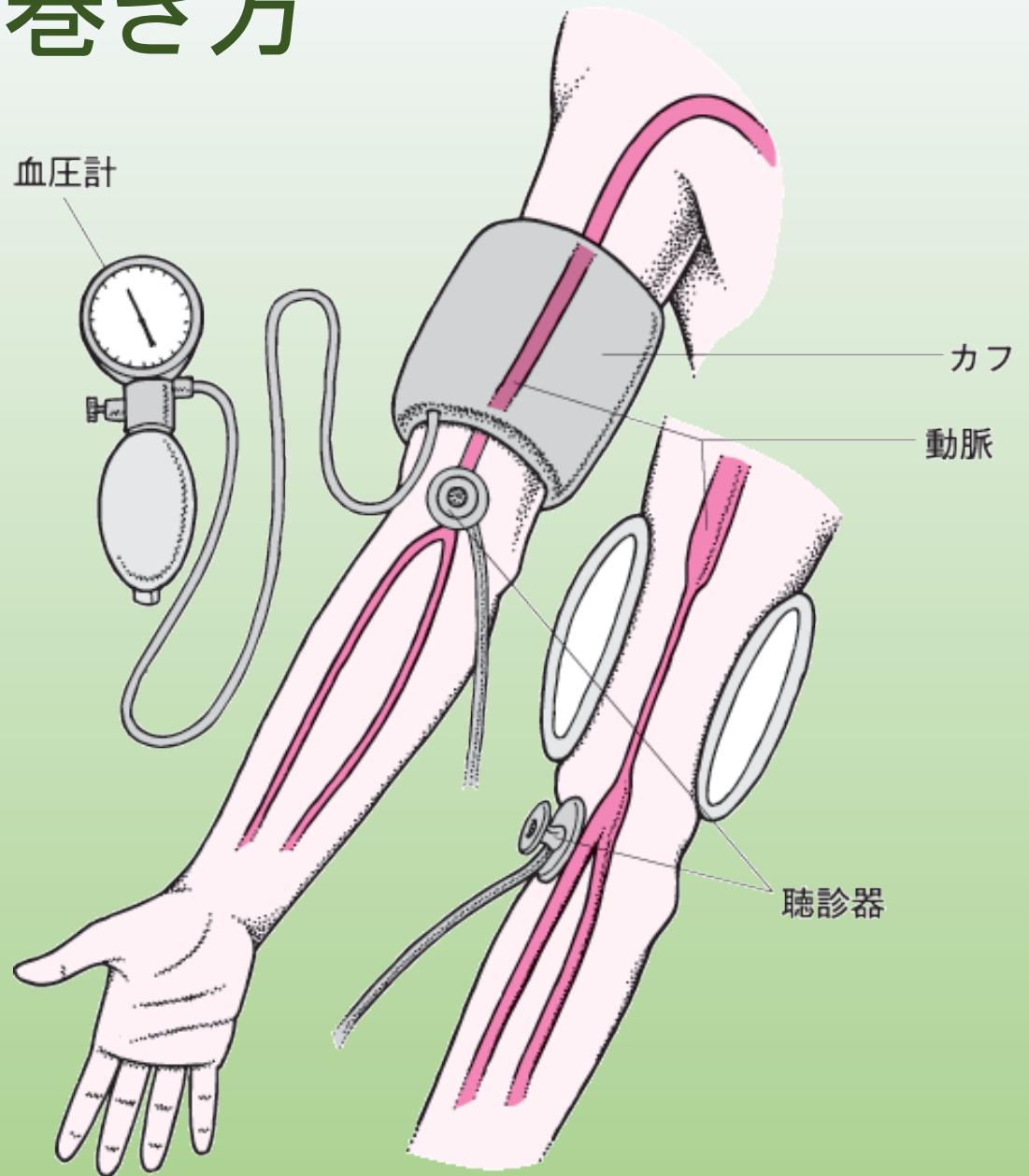
排気弁

マンシェットの幅の選び方

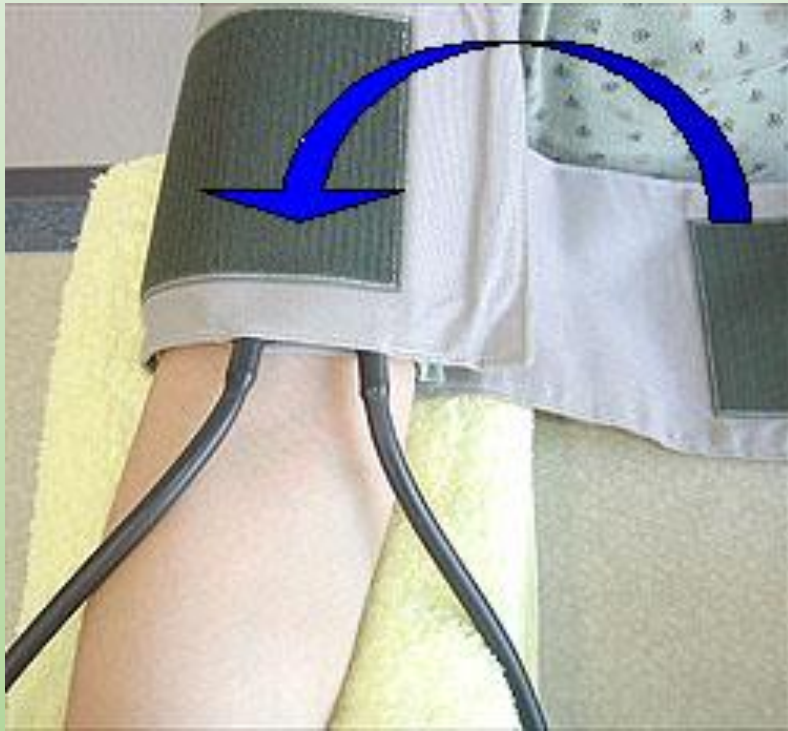
1歳以下	2.5cm
1～4歳	5～6cm
5～8歳	8～9cm
成人	12～14cm

* 上腕周囲の40%の幅 もしくは
上腕の2／3を覆う幅が理想的

マンシェットの巻き方



マンシエットの巻き方



血圧測定の準備

- 適切なマンシェットを選択し、血圧計を点検する
- 患者の安静を保つ(5～10分)
- 血圧計、患者の心臓の位置、マンシェットを巻く位置が同じ高さになるよう調整し、安定した場所に血圧計を設置する
- 患者の衣服を調整する

血圧の測り方

1. 送気弁のネジを締め、マンシェットを加圧していく
2. 収縮期血圧より15～20mmHg高い値まで加圧する
3. 加圧できたら1拍動につき、2mmHgのスピードで送気弁を緩めながら減圧していく

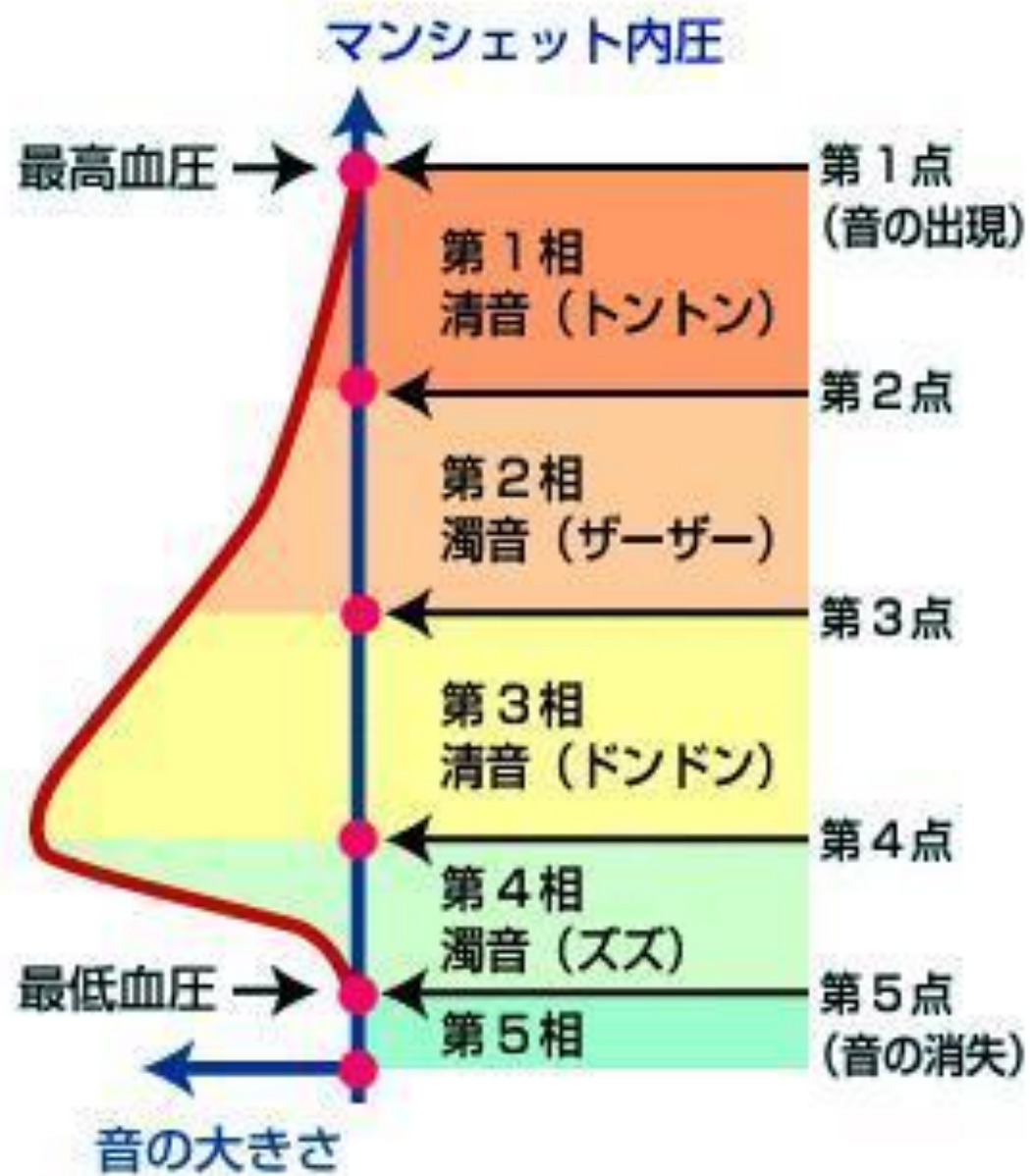
血圧値の読み方

<触診法>

脈の触れ始めた値を読む

<聴診法>

コトコフ音の聞こえ始めと聞こえ終わりの値を読み取る（目線はメモリと同じ高さにする）



血圧計の種類



アナロイド式血圧計



医療用電子血圧計

成人における血圧値の分類

収縮期血圧（上の血圧）	≥ 180	Ⅲ 度高血圧（重症）				
	160-179	Ⅱ 度高血圧（中等症）				
	140-159	Ⅰ 度高血圧（軽症）				
	130-139	正常高値血圧				
	<130	正常血圧				
	<120	至適正值				
		<80	<85	85-89	90-99	100-109
		≥ 110				
		拡張期血圧（下の血圧）				

動画でわかる！
看護技術

看護roo!